

キングダム・フェロシップ・チャーチ

<http://kingdomfellowship.webnode.jp>

週 報

2013.05.19

エクレシアにおける新創造 2コリント5:17

主は私達にかなり早い段階から、ハガイ書やエズラ・ネヘミヤ記を通して、主の宮の再建について語ってこられました。これはあくまで“再建”であり、新しく宮を建て上げるというものではありませんでした。あるいはそのままの状態の主のさらなる大きな栄光を見るという、単純な宮の栄光の拡大でもありませんでした。私達のエクレシアが、バビロン捕囚後の焼け野原、荒れた更地のようになったエルサレムに見るように、主の聖別を経て、前の栄光よりもさらに大きい主の宮の栄光を見る、つまりはエクレシアが死を経てよみがえりに至り、勝利が死を飲み込む姿を見るということはかなり以前から語られていたという事実を知るのです。

私達は旧創造から新創造へ、古い天地が消え去り全てが新しくなる新天新地、新エルサレム、そして完全なる主の新しい宮の完成を結論とする信仰を与えられています。それは私達個人個人にも、あるいはエクレシアに対しても、この旧創造から新創造への転換を先取りして受け取る者であるということの意味しています。それが全てのキリスト者が経験する、死とよみがえりの実体験を持つ信仰生活なのです。個人でも死を自覚する経験をする必要があるように、エクレシア自体も人の目には何もなくなってしまったように思える程の死を自覚する経験をする必要があるのです。そして主が死んだままの主ではなく栄光の体でよみがえられたように、私達もさらに大いなる栄光をもって、新天新地、新エルサレムを先取りして実体験する、それがエクレシアなのです。ですから、これはすでに完全なる希望をもって語られていたのです。そして全てが主から始まった計画であり、主の御手の内にあることなのです。どうして死を見て悲嘆に暮れ不安におののく必要がありましょうか。そうです。「古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったので」すから。

◇ KFCの主日サーヴィス ◇

●午前の部●

10:00-12:00

バイブルスタディー

●午後の部●

2:00-4:15

日本語セレブレーション

◇ ご連絡事項 ◇

1. 本年のキーワードは"真理の柱また土台(1テモテ 3:15)"です。主はしっかりとした基礎の上に、エクレシアを建て上げられます。
2. 私たちは皆祭司であり、預言者であり、主は一人ひとりを通して語られます。主が直接語られた御言葉を一人ひとりが受け止め、エクレシアに発信できますように。

◇ 祈りの課題 ◇

■ KFC のために

- ・ 終末に生きる者として、キリストと共に生きることを求めましょう。
- ・ エクレシアの器官としての仕事を各々が気づき、愛を通して活動できますように。
- ・ 家族の救いと回復がなされ、また和解がなされますように。
- ・ KFC メンバーと家族の健康、生活が支えられ、癒し、祝福が豊かにありますように。
- ・ 各ローカル・フェロシッパや諸々の奉仕・働きが油塗られ、祝福されますように。

■ 日本や世界のために

- ・ 中東の混乱に対して、特にイスラエルのために。
- ・ 終末に向かっての世界の混乱に対して、救いの道が示されるように。
- ・ 日本の霊的状態のために。
- ・ 青少年の霊的健全さのために。
- ・ 地震や津波などの天災での被害者のために。

連絡先： kingdomfellowship@excite.co.jp、TEL.045-315-0373（教会専用）

住所： 横浜市神奈川区二ツ谷町10-1二ツ谷ビル3F

